

主催 日本地学教育学会・釧路市立博物館
共催 北海道教育大学
日時 2025 年 8 月 17 日（日） 14:00～16:00
場所 釧路市立博物館 1 階～3 階

目的 日本地学教育学会における全国の研究者が釧路の子どもたち、市民のために、様々な研究、普及活動の成果を生かし、釧路市立博物館で実験・観察・ものづくり講座を行います。
内容 博物館内で9つコーナーをつくり、地球科学の観察・実験・ものづくりを屋台のように展開し、随時、紹介していきます。

1: 立体地形の気象モデル実験【東海大学 岡本 研 先生】

ドライアイスで発生させた冷霧を、砂で作成した立体地形模型上に流して北海道特有の気象現象を再現するモデル実験を行います。北海道の冬の日本海側の降雪や夏の太平洋側の海霧の発生など、モデル実験を通して発生のメカニズムについて紹介します。

2: モデルで学ぼう・・・【E教育コンサル 宮嶋 衛次 先生】

地学的な現象を、身近なものを使ったモデルで再現します。

（コーラ火山噴火、地球楕円体モデル、地球と月のモデル、夕焼けモデル などなどなど）

3: 紙1枚で作るミニ太陽系モデル【東京理科大学 教養教育研究院 小泉 治彦 先生】

A 4 判の紙 1 枚とりのり・ハサミだけで小さな太陽系モデルをつくります。小中学校はもちろん発展途上国など資材の少ない地域でも宇宙の大きさについての体験を簡単に実施することができます。

4: 水蒸気噴火ってどんな噴火？【北翔大学 横山 光 先生】

火山の噴火様式の一つに「水蒸気噴火」があります。雌阿寒岳の 2006 年、2008 年の噴火も「水蒸気噴火」でした。ポップコーンやレンチン卵と同じくみの「水蒸気噴火」を実験で体験してみましょう。

5: 雲の模型をつくろう【信州大学教育学部 榊原保志 先生】

空に浮かぶ雲は 10 種類の雲に分類されます。その特徴や見分け方の説明を聞いたのち、台紙に脱脂綿を使って雲の特徴を表現した模型を作成します。指を使うことで雲の分類ができるようになります。

6: 10 分で、地層から鉱物(宝石の仲間)を取り出そう！【相模原弥栄高等学校 藤原 靖 先生】

10 分で、釧路北部で見られる地層（屈斜路火砕流堆積物）から、鉱物（宝石の仲間）を取り出して、顕微鏡観察まで行います。

7: 恐竜骨格を実寸大で観察しよう【武蔵野大学 飯田 和也 先生】

iPad を使って、恐竜骨格を AR 表示して観察できます。AR 表示では、恐竜の骨格を実寸大で観察できます。

8: 地球の歴史のばたばたパズル【大阪教育大学 廣木 義久 先生】

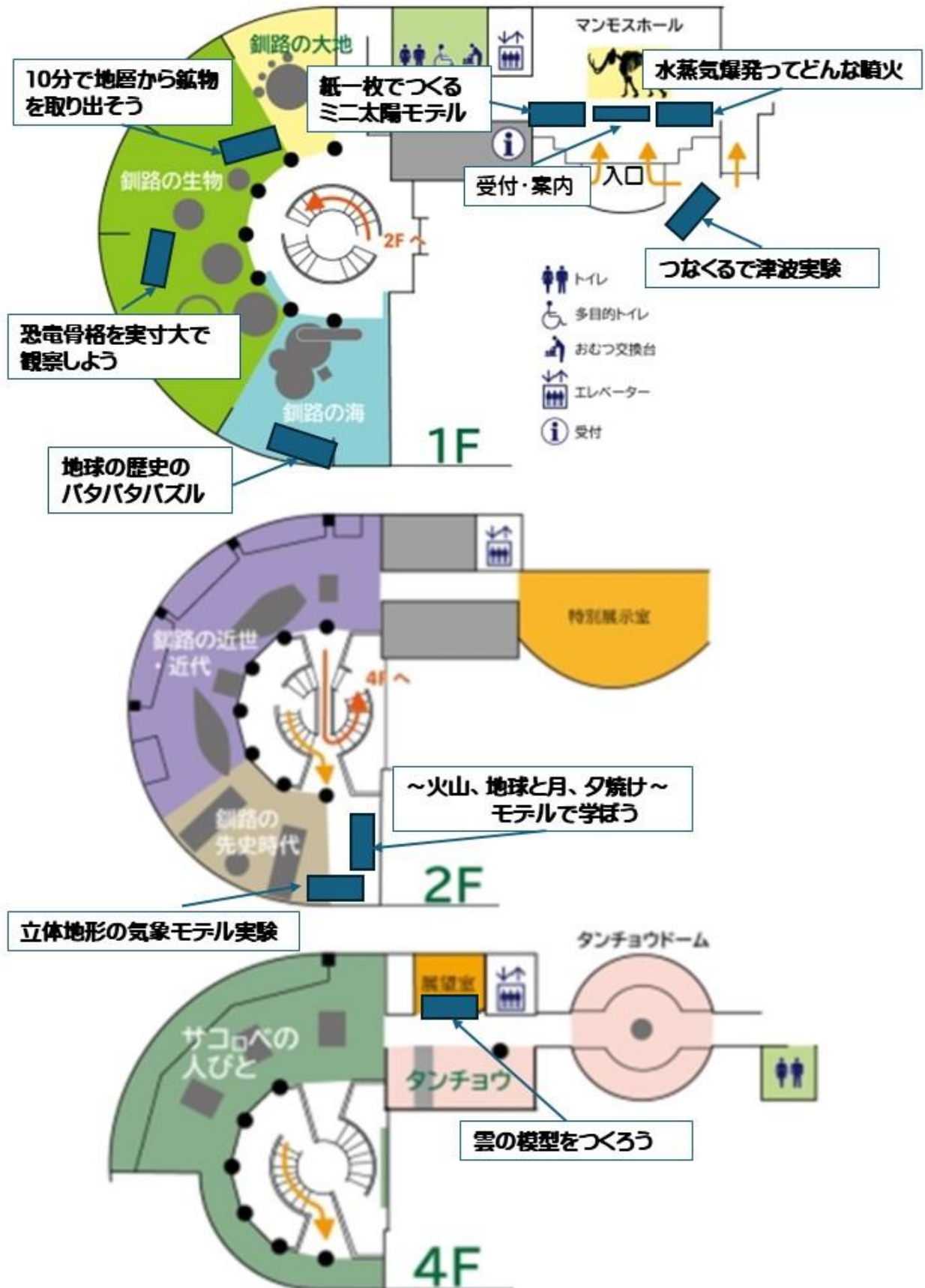
「ばたばたパズル」を製作しながら地球の歴史について学んでもらいます。地球の 4 つの時代（先カンブリア時代・オルドビス紀・白亜紀・第四紀）の地球の様子や生き物の違いを学びます。

9: 津波と波の違いを津波実験装置「つなくる」で体験しよう【北海道教育大学釧路校授業開発研究室】

津波実験装置「つなくる」を使って、津波と波の違いや、引き波と押し波の違い、地形模型を使ってどこが危険なのかをモデル実験を通して紹介します。

場所は、別紙「ジオ屋台マップ」をご覧ください。

博物館に地球の不思議を探しに行こう



2025年8月17日(日) 釧路市立博物館
14:00~16:00

ジオって?

ジオとは、
それは地球!

研究者と
実験・観察・
ものづくりを
楽しもう!

宇宙

紙一枚でつくるミニ太陽モデル
東京理科大学 小泉 治彦先生

モデルで学ぼう

E 教育コンサル 宮嶋 衛次先生

火山

水蒸気爆発ってどんな噴火
北翔大学 横山 光先生

化石

恐竜骨格を実寸大で観察しよう
武蔵野大学 飯田 和也 先生

地球の歴史のパタパタパズル

大阪教育大学 廣木 義久 先生

地震

つなくるで津波実験
北海道教育大学授業開発研究室

鉱物

10分で地層から鉱物を取り出そう
相模原弥栄高等学校 藤原 靖先生

地球を楽しむ
研究者と一緒に
観察・実験・ものづくり

天気

雲の模型をつくろう
信州大学 榊原保志先生

立体地形の気象モデル実験
東海大学 岡本 研先生

釧路市立博物館

主催 | 日本地学教育学会・釧路市立博物館
共催 | 北海道教育大学釧路校・釧路市立博物館友の会

開館時間 | 午前9時30分~午後5時 展示室入館料 | 大人480円 高校生250円 小中学生110円 (マンモスホールは無料)

学校夏休み中の釧路市内小・中学生、市内在住・「くしろステイメンバースカード」をお持ちの65歳以上の方は無料です



〒085-0822 北海道釧路市春湖台1-7 museum@city.kushiro.lg.jp ☎ 0154-41-5809 FAX 0154-42-6000